

これから富士見中学生としての生活、制服についてお話させていただきます。

今年度、ユニクロ・ジーユーの「届けよう、服のチカラプロジェクト」に2学年が参加させていただきました。ご家庭で不要になった子供服を回収し、難民へ届ける、といったプロジェクトです。富士見中学校を含め熊谷市内数か所にて回収し、約1800枚回収することができました。その学習の中で【服のチカラ】についても学ぶことができました。服にはたくさんのチカラがある、と学びましたがそのなかで3つ紹介させていただきます。

一つ目は気持ちを伝えるチカラです。人は気持ちを表現する際、服装でも気持ちを伝えます。結婚式では新郎新婦を祝うためにドレスやタキシード、スーツなどを身にまといお祝いの気持ちを伝えます。お葬式では喪服をまとい、亡くなってしまった人を偲び、冥福を祈り、遺族の悲しみに寄り添う心構えを服装で伝えます。服装は着ている人の心を支え、気持ちを表現してくれます。では、中学校生活で制服を着てどんな気持ちを表現するのでしょうか。学校で真剣に学習に取り組むんだ、という気持ちでしょうか。友達と仲良くしたい、という気持ちでしょうか。その気持ちを伝える際、服装が乱れていたらどうでしょうか。結婚式でボタンがあいて、ネクタイが曲がって、あるいは緩んでいる人がお祝いの気持ちを服装で伝えられるのでしょうか。お葬式で服装が乱れている人が気持ちを服装で伝えられるのでしょうか。正しく着ることでその気持ちを正しく伝えることができます。制服は正しく着こなして初めて服のチカラを発揮できます。

二つ目は社会とつながるチカラです。制服は所属や役割などを示すことができます。例えば、警察官や消防士の制服にはどんな役割があるのでしょうか。一目みただけで地域を守ってくれる警察官、何か起きたときに助けに来てくれる消防士、いるだけで、制服を見ただけで人を安心させることもできるかもしれません。社会の安全を守る役割を示しています。また、スポーツチームのユニフォームもスポーツ選手にとっては制服です。ユニフォームには仲間意識とチームの一体感を生むことができます。サッカーや野球の試合で応援するチームのユニフォームを着て応援しているファンの方々。チームが勝利した際、選手と同様に涙を流したりしている姿も見たことがあると思います。これは仲間意識や一体感を示します。富士見中学校の制服を着ることにより、富士見中学校の生徒としての所属を示すとともに、仲間意識や一体感を示してくれます。また、地域の人々も同じ地域に住んでいる生徒だ、ということで仲間意識を持ってくれています。卒業生の方々も多くいます。富士見中学生という所属を示すことでの安心感、信頼も生まれます。

三つ目は命を守るチカラです。富士見中学校の制服や体育着を着ていることにより、一目でどの学校の生徒なのか、誰なのかわかります。緊急の対応がある際、いち早く情報を

伝えることができます。本校ではバザーや譲り受けた制服や体育着、ジャージ等を着ることが認められておりますが、この命を守るチカラを最大限発揮するために必ず名前の記入、変更をお願いします。

制服のチカラを最大限発揮するために制服の着方はとても大切なことだと思います。富士見中ではどんな制服を着ているのか、またルール等を簡単ではありますが説明をさせていただきます。スクリーンをご覧ください。